

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				1
会 派 名	無 会 派	年 度	令和 4 年度	
項 目	広報費	金 額	144,210.- 円	
内 容	加吉川市議会報告印刷代 (2022年秋号)			
支 払 先	(株)南西共同印刷所	支払年月日	令和 4 年 12 月 12 日	
備 考				

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

請求書

675-8501
加古川市加古川町北在家2000
加古川市議会内
日本共産党加古川市議会議員団気付

(株)関西共同印刷所

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目15番5号
TEL 06-6452-1188 (総務部)
TEL 06-6453-2864 (営業部)

取引銀行



市議会議員 橋本和彦

様

下記の通り請求致します。

日	付	伝票番号	お客様コード	担	当	取引	運	番
2022.11.14				日高	売掛			283072

区分	商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
売上	加古川市議会報告 2022年秋号 B4×2	15,500			131,000	(税抜き金額)
備考		131,000	消費税	13,100	合計	144,100

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてご覧ください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ￥144,100
振込手数料 ￥110
お取引後残高

お受取人は

銀行

カ) カノサイキョクト ワインサツショ 様

お振込人は

ハツモト カス"ヒコ 様

お取扱日 4.12.12 電信振込

取引店	備考	年	月	日	時	分	秒
433	19	4	12	12	09	45	
					8040		

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

三井住友銀行

加古川市議会報告

2022年 秋季号

発行●市議会議員 立花しゅんじ・市議会議員 橋本和彦 加古川市加古川町北在家2000 TEL 079-427-9303

市議会議員

立花しゅんじ

●総務教育常任委員



市議会議員

橋本 和彦

●福祉環境常任委員



新しい顔ぶれを迎えての新体制

皆さまの願い 公約実現に向けて頑張ります



加 古川市議会は、6月12日に投票が行われて、7月25日から第19期の加古川市議会がスタートし、7月議会は議長など諸役員の選挙が行われ、9月議会が開催されました。

9月議会は、新型コロナワクチン接種、地域経済と低所得者対策の行政課題とマイナンバーカード推進の補正予算、13の決算案件、4つの条例など37項目と少人数学級・給食費無償化・インボイス中止を求める請願3件の審議が行われました。

各会派の代表質問と初当選議員全員が選挙戦を通じて市民からの要望を反映したオリジナリティに富んだ一般質問を行いました。

立花・橋本両市議は、未経験のパンデミック対策で各種給付金や

ワクチン接種などへの尽力、中学校給食や「チョイソコかがわ」のスタート等に敬意を表するとともに、予算執行は、オープンだったか、満足度はどうか、インクルーシブな行政だったかの物差しで反対討論を行いました。

そして、コロナ禍における市民生活支援、国保・介護・後期高齢者の保険料引き下げ、高齢者対策の拡充、ナショナルミニマムの底上げ、エクスクルーシブなDX施策の是正、アウトソーシングの見直し、上下水道の低所得者減免制度創設、プロポーザルによる公共事業の見直しなどとともに、公約実現目指して給食の無償化を求めました。

安倍元首相の国葬について

——市としての態度を問う——



初めに非業の死を遂げた安倍元首相のご逝去に対しては哀悼の意を表明し、憲法論争について、行政法のない下での国葬についての認識を質しましたが、市は法律がないことは追認しましたが、政府が判断するものと回答を避けました。また、私から弔意を学校や市職員に強制しないよう求めました。弔意については市として強制することはないことを表明。結果としては国葬への参加はせず、弔意の強制は行わず庁舎の半旗掲揚にとどまりました。

まとめとして私は、安倍元首相の評価について、森友・加計・桜を見る会では権力を私物化し説明責任を果たしていない。安保法制強行採決・共謀罪の憲法違反に加えて、16.6億円の国税支出、「桜を見る会」を請け負った「ムラヤマ」というイベント会社との契約の問題点を指摘して、国民全体で弔意を表す国葬といえながら国民に弔意を求められない矛盾を指摘しました。



2022年9月27日、国葬抗議集会

旧統一協会問題について

——市との関連と被害の実態を問う——



旧統一協会については、郷路征記(こうろまさき)弁護士によって、信教の自由は尊重されるべきだが、教団名を隠して接近し、自由な判断力を奪った状態で相手を洗脳してしまうといった布教活動など、許されるものではないとして、訴訟を通じて、旧統一協会の伝道・教化活動が、対象者の思想信条の自由を侵害する違法行為であるとして、2003年10月10日、最高裁判所第二小法廷で旧統一協会側の上告は棄却され、旧統一協会の敗訴は決定していることをご紹介しました。その上に立って、加古川市と社会福祉協議会などが関連外部団体から寄附金などを受取ったことがあるか、関連団体が加古川市の施設を利用したり、市の行事などに参加したことがあるか、また、旧統一協会とその関連団体からの市民の被害報告は何件寄せられているか、3点について尋ねました。市からの答弁では、平成29年から令和3年の間にはなかった。社会福祉協議会についてはわからないとのことでした。

請願に対する各会派の態度

○賛成 ×反対

請願内容	立花しゅんじ	橋本和彦	創生加古川	公明党議員団	かがわ市民クラブ	加古川維新の会	拓殖厚人	結果
少人数学級・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する件	○	○	○	○	○	○	○	採択
小・中学校・養護学校の全児童・生徒の給食費を無償化することを求める請願書	○	○	×	×	×	×	○	不採択
消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出を求める請願	○	○	×	×	×	×	×	不採択

補聴器購入費の補助について

—聞こえないことで地域活動から
取り残されることのないよう—

町内会行事への参加が、人の話が聞き取り辛く交流の場にいる事自体が苦痛になり、引きこもり状態になっている。近所付き合いも遠のいて孤独感に苛まれ孤立感が増大していく。又、安い補聴器は雑音が多く気分が悪くなるとの声があります。年金生活では補聴器購入金はとても出せないのが実情です。

国の補助制度は有りますが、高齢者(年齢的)には当て嵌らず、障がい者が対象です。

これらの市民の声を行政としてどのようにお考えなのでしょうかと質問して高齢者に対する補助制度創設を求めました。



コロナ禍における 生活保護の現状について

—申請時の窓口対応を問う—

コロナ禍での生活が何らかの理由によりまま成らなくなり助けを求め行政機関に訪れる中、高圧的に「親族はいないのか」「親兄弟からの援助はされないのか」「誰かに相談してみたのか」との窓口対応があった。それで無くとも心が折れそうな精神状態で訪れている申請者に対する対応を行政として市民に開かれた対応と考えられているのか?

2019年度以降の申請者数・却下者数を求め、その数は行政として申請をあきらめさせる「水際作戦」ではないのかと指摘してやめるよう求めました。



指定避難所の 運営と避難の現状について

加古川市の指定避難所については、市内の小中学校などが指定されておりますが、昨今の自然災害は非常にスケールが大きく甚大であります。夜間の災害時にはどのような流れで開設されるのでしょうか。又、指定避難所では、どの程度のバリアフリー化がされているのでしょうか。介助者の必要な方への手立てはどのようにお考えなのでしょうか。スロープや避難通路での反射板などの設置などはどのように考えられているのでしょうかと質問し、避難所整備を求めました。



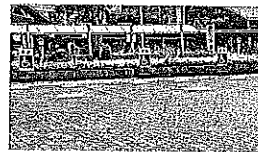
声をあげて、誰も取り残さない加古川市政を

9月議会 一般質問で行った要望事項

市役所庁舎の駐車場について

—ハンディキャップがある方にも
利用しやすいよう改善を—

他の自治体から加古川市に転入して手続きに市役所を訪れた方から「加古川市は市民ファーストでない」とのお叱りを受けました。ギクッとしてお尋ねしたところ、以前住んでいた自治体では庁舎の一番近いところに身体障がい者用の駐車場があったが、カーパークつつじから市庁舎迄遠くて何度も休みながら窓口まで行ったとのことでした。議会棟北側の駐車場の開放と正面玄関横にある身体障がい者や高齢者のための駐車場の周知を徹底してほしいと求めました。



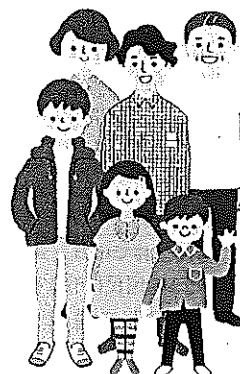
本庁舎前の障がい者用駐車場の周知を求める

新たな加古川市議会への期待

—議会・行政が切磋琢磨して福祉の向上を—

9月議会が開催されて、各議員の発言を聞いて感じることがあります。8名の初当選議員全員が市民要求に寄り添い、市政に正面から取り組んで、それぞれの課題をもって、気候変動、小中の教員不足、子どもたちの相談体制、就学援助、特別支援学校の必要性など焦眉の行政課題について積極的に質問が行われました。代表質問・一般質問、そして常任委員会でも、6月の市議会議員選挙で市民との対話が広がったこともあり、岡田市政評価について65歳以上が人口の3割を超しているのに高齢者対策が貧困であること。プロポーザルによる公共事業に不透明感を覚えること。コロナ対策でのデジタルディバイド見直しを提案、気候変動対策、つなぐシート(複合課題チェックシート)、生活保護に係る水際対策の指摘など、今までも増して、直面している喫緊の市政の課題についての質問と提案が繰り返されました。また、私たちは、他会派が質問しない、大企業中心・新自由主義路線批判をベースに、憲法問題や旧統一協会問題、アウトソーシング、上位行政法で縛って法定受託事務として押し付けているマイナンバーカード制度などについて付度することなく質問と提案を行いました。

議会のチェック機能と行政の執行機関がお互いに牽制し合いながら地方自治を守り発展させ、福祉の向上に向けて加古川市が発展するよう尽力します。忌憚のないご意見をお寄せください。



令和4年度 第6回 加古川市議会(定例会)日程(案)

12/1(木)	全議案上程(質疑、付託)	第1日	7(水)	総務教育常任委員会		19(月)	委員会審査報告(質疑、討論、採決)	第5日
2(金)	一般質問	第2日	8(木)	福祉環境常任委員会			追加議案上程(即決)	
5(月)	一般質問	第3日	9(金)	建設経済常任委員会				
6(火)	一般質問	第4日	12(月)	常任委員会予備日				

【 請願の締切は11月21日(月)です 】

議案は市HPにも掲載されます。議会・委員会は9:30開会予定です。